

令和元年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立中川副小学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

平成31年4月18日(木)

■ 調査の対象学年

小学校6年生児童

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査(国語、算数)

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

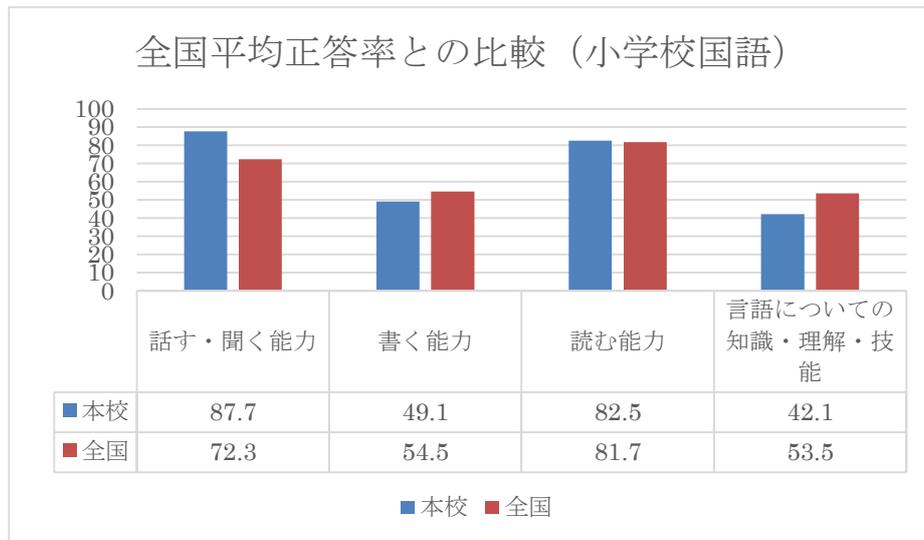
児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査 (例)国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学、英語に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部分」であり「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご欄ください。

■ 調査結果及び考察

1 国語



(1) 結果

4領域のうち2領域で全国平均正答率を上回りました。特に「話す・聞く能力」では、全国平均を大きく上回っています。一方で「書く能力」、「言語についての知識・理解・技能」では、全国平均を下回りました。今後は、「書くこと」の学習を通して、「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く力」や「文脈に沿って正しい漢字や熟語、接続語を使う力」をつける必要があります。

(2) 成果と課題

話す・聞く

- 必要な情報を得るために、話し手の意図を捉えながら聞くことができています。一方で、話の展開に沿って、質問を工夫し、自分の考えをまとめたり伝えたりすることに課題があります。

書く

- 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことに課題があります。相手や目的に応じて適切な記述の仕方を考えたり、図表やグラフを用いて効果的に書いたりする力をつける必要があります。

読む

- 目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むことができています。一方で、目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読むことに課題があります。

言語事項

- 文脈に沿って正しい漢字を書いたり、文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書いたりすることに課題があります。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

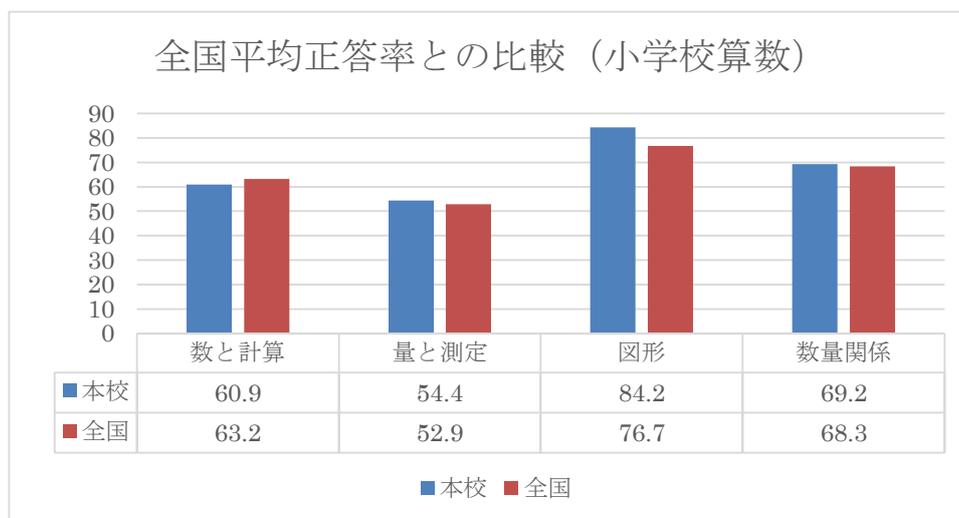
- 何をどのように書いているのか、何を話して（聞いて）いるのか、だけではなく、なぜそのように話す（聞く）とよいのかといった目的や理由、そのようにすることの効果などを考える学習の場面を設けていきます。
- 調査したことについて報告する文章を書く活動では、身近な生活に題材を求めたり、調べる価値や報告する必要性が実感できる題材を選んだりして、児童の「伝えたい」「報告したい」という意欲を大切にします。調査の段階ではグループで協力して調べ、記述の段階では個人で考えを深めながら書くようにするなど指導を工夫します。
- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかく読むことができるように指導を工夫します。
- 新出漢字を繰り返し練習することにとどまらず、自分が書いた文章を見直す学習などの中で、同音異義語の正しい使い方を習得できるように指導します。

【ご家庭では】

- まずは音読が基本です。音読を毎日聞いてあげましょう。繰り返し音読することで、文の構成、言葉の意味を理解し、文節ごとにきちんと区切ってすらすら読めるようになります。文章を読み、要点や意図を捉えることは、国語科だけでなく全ての教科の学力向上に不可欠です。
- お子さんと会話を楽しみましょう。聞くときは最後まできちんと聞き、話すときは語尾まではっきりと話しましょう。共感したり、根拠を尋ねたり、お互いの考えを交流しましょう。
- 読書のジャンルを広げてあげましょう。文学・科学・歴史・地理・芸術…いろいろな本を読み、いろいろな表現や用語にふれることで、語彙力を高め知識の幅を広げることができます。読書で得ることができる知識、語彙力、創造力、集中力、感動は知的好奇心を高め、心を豊かにします。

2 算数

(1) 結果



ほぼ全国平均と同等の結果ですが「図形」の領域では、全国平均を上回っています。基礎的な知識、計算技能は定着していますが、数学の事象について統合的、発展的に考え、問題を解決することに課題が見られます。

(2) 成果と課題

数と計算

示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することはできています。しかし、示された計算のしかたを解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述することに課題があります。

（出題例）

「ひき算では、ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、ひいても、差は変わらない。」という性質からわり算について成り立つ性質について「わられる数」、「わる数」、「商」の3つの言葉を使って説明する。

量と測定

示された場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断することは概ねできています。しかし、示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述することに課題があります。

図形

台形についてよく理解できています。図形の性質や構成要素に着目し、他の図形を構成することも概ね理解できていました。

数量関係

1つの棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることはできています。しかし、2つの棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取り、それらを関連付けて正しい判断をし、その理由を記述することに課題が見られました。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 式から答えを出す一方向だけではなく、式の意味を考えさせたり、式に合う問題を作らせたり、式から生活場面を想起させたりしながら、式、絵や図、具体的場面の関係を説明できるようにします。
- できているものだけではなく、できていなかったものや間違っているもの、不十分なものについても取り上げて、ペア学習、グループ学習等で説明したり、友達の意見を聞き、討議したりすることで、考えを広げたり深めたりできるようにしていきます。
- ノートチェック、プリント、ドリル、家庭への課題など、日々の指導の中で個々のつまづきを早期に見つけ、補充指導に努めます。
- 発展的な学習や週末課題として、複数の資料を関連付けながら考えさせる問題や思考力、表現力を育てる文章問題等を計画的に宿題として課します。

【ご家庭では】

- お子さんが今何を学習しているのか、理解できているのか、解くのにどれくらい時間がかかっているのか、ドリルやプリント等の宿題・テストに目を通しましょう。そしてお子さんにたくさん励ましや称賛の言葉をかけましょう。
- 算数好きにするには、「習ったことが生活の中で使えて、便利だな。おもしろいな。」と思う経験をさせるのが一番です。生活場面で算数を使ってみてください。「おかし数えでかけ算」「おかし分けで割り算」「料理で重さ」「お風呂で水のかさ」「買い物で割合」「折り紙で分数」「家の中で図形探し」など、少し意識するだけで、身のまわりには算数を使えるものが意外とあります。

4 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果 《生活習慣について肯定的な回答をした児童の割合》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	89.5	95.3
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	89.5	81.4
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	89.5	91.6
自分にはよいところがあると思いますか。	73.7	81.2
ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。	100	95.2
学校に行くのは楽しいと思いますか。	100	85.5
学校のきまりを守っていますか。	94.8	92.3
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	97.1	97.1

- ・ 就寝時間については概ねできているということができますが、朝食・起床は全国平均を下回っており、少し課題があるようです。
- ・ 規範意識については肯定的な回答をしています。楽しく学校生活を送る中で、課題等に対してよく努力し、達成感を味わうこともできているようです。しかし、自尊感情は全国平均を下回っています。自尊感情を高め、自らすすんで人、もの、ことに関わろうとする態度を育てる必要があります。

《国語・算数の学習及び家庭学習の様子について肯定的な回答をした児童の割合》

調査の項目	本校%	全国平均 %
国語の勉強は大切だと思いますか。	100	93.0
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに大切だと思いますか。	100	91.2
算数の勉強は大切だと思いますか。	89.5	93.7
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに大切だと思いますか。	89.5	92.5
読書は好きですか。	84.2	75.0
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上学習できていますか。	68.5	66.1
自分で計画を立てて学習していますか。	63.2	71.5

- ・ 家庭学習については全国平均とほぼ同等ですが、まだ1時間未満の児童が3割近くいます。個人差が見られるので、家庭学習の手引きをもとに家庭学習の意味を児童に伝えて家庭学習が習慣化するように指導をしていく必要があります。また、宿題には真面目に取り組んでいますが、自ら予習や復習に取り組む姿勢は十分ではありません。

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- 「家庭学習がんばろう週間」の取り組みを通して、家庭学習や規則正しい生活の習慣の定着を目指します。
- 地域の行事に積極的に参加するとともに、総合的な学習の時間などに発信する場を設け、自分の考えや思いを堂々と発表したり、伝えたりできる児童、地域を誇りに思う児童を育てます。

【ご家庭では】

- ゲームやSNSがやめられず、日常生活に支障をきたす等のネット依存が問題になっています。お子様のゲームやインターネットに関わっている時間を見直してください。ネット依存の傾向が、お子様の健やかな成長を阻害する要因になってきています。お子様が使っている機器やアプリの情報をきちんと知り、管理し、その上で約束を決め、守るようにご指導ください。
- お子様とたくさん会話をもち、たくさん褒めてあげてください。また、連絡帳、学校からのお知らせやお子様の学習物に目を通してください。